

(6) 特定非営利活動法人りょうぜん里山がっこう (福島)

<基礎情報>

団体名	特定非営利活動法人りょうぜん里山がっこう
代表者名	高野金助
住所	〒960-0804 福島県伊達市霊山町大石字細倉 1 7 番地
設立年月日	平成 12 年ごろ
法人格取得年月日	平成 19 年 6 月 5 日認証
活動地域 (県)	福島県
最新決算総額	23,887,523 円 (平成 29 年度)
役員数・職員数合計	常勤職員数 : 2 名 (2018 年 7 月 2 日時点)
団体の概要	伊達地域の中で日常的にりょうぜん里山がっこうのフィールドを拠点に子どもたちの外遊びの支援や、帰還者の親子に寄り添う居場所づくり活動、震災からの復興再生を目指して企業モニターツアーのモデル事業を行っている。
ウェブページ	http://date-satoyama.com/

<活動概要>

活動分野	地域振興、人材育成
設立以来の主な活動実績	※活動実績の項を参照。
団体の目的	・みんなの学び舎りょうぜん里山がっこうを拠点に伊達地域、県内外より集う全ての人が、体験活動や文化芸術活動を通して、人と自然にふれあい、生きがい、感動、友情を共有し、共に育ち合う中で、生き生きとした地域にする事を目的とする。
団体の活動・業務 (事業活動の概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動事業 ・体験活動受託事業 ・里山地域の保全に関する事業 ・地域のサロン事業 ・グリーンツーリズム事業 ・調査研究、講師の派遣事業 ・その他、第 3 条の目的を達成するために行う事業 ・物品販売事業

現在特に力を入れていること	—
今後の活動の方向性・ビジョン	—
定期刊行物	—
備考	—

<活動実績>

助成金・補助金・物品等、他の組織から受けた支援の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な農村創生企業連携モデル事業（福島県県北農林事務所） ・ふくしま恵み PR 事業（福島県県北農林事務所） ・地域づくりサポート事業（福島県県北地方振興局） ・「福島に来て」地域応援事業（福島県企画商工部） ・福島県ふくふる交流相談支援事業（福島県避難者支援課） ・帰還家族の安全確保とコミュニティ参加支援 “伊達もんもプロジェクト”（JPF 共に生きるファンド） ・帰還家族の“安心確保と子育て日本一関わり”支援事業（JPF 共に生きるファンド） ・ふるさと・きずな維持再生支援事業（福島県文化振興課）
他のNPO・市民活動団体との協働、他の学協会との共同研究・協働の実績	—
企業・団体との協働・共同研究の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・農村交流（県北交通） ・農都交流（JCB）
行政との協働（委託事業など）の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしま県北定住促進事業（福島県県北地方振興局） ・草の根支援事業（原子力文化財団） ・冒険ひろば設置運営業務（子どもが自然と遊ぶ楽校ネット） ・食と農魅力発信事業（福島県県北農林事務所）

(7) 認定特定非営利活動法人いわて子育てネット（岩手）

<基礎情報>

団体名	認定 NPO 法人いわて子育てネット
代表者名	村井軍一（理事長）
住所	岩手県盛岡市大通二丁目 7-20 ウェダビル 3 階
設立年月日	2001 年 9 月
法人格取得年月日	2004 年 1 月（NPO 法人化） 2014 年 8 月（認定 NPO 法人格取得）
中心となる活動地域（県）	岩手県盛岡市 洋野町 久慈市 野田村 普代村 田野畑村 岩泉町 宮古市 山田町 大槌町 釜石市 大船渡市 陸前高田市 内陸その他
最新決算総額	約 5,200 万円（平成 29 年度活動計算書より）
役員数・職員数合計	理事会役員 12 名、事務局 3 名、施設スタッフ 9 名 ※図 39 参照
団体の概要	平成 23 年度から自主事業として新生児と母親およびその家族受け入れ支援、心のケア、盛岡に避難してきた乳幼児家庭支援、被災後の子どもたちのストレス発散・運動不足解消に体を動かして遊べる室内遊び場の設置運営（体育遊び教室）等を行っている。
ウェブページ	http://iwate-kosodate.com/

平成30年度 いわて子育てネット組織図

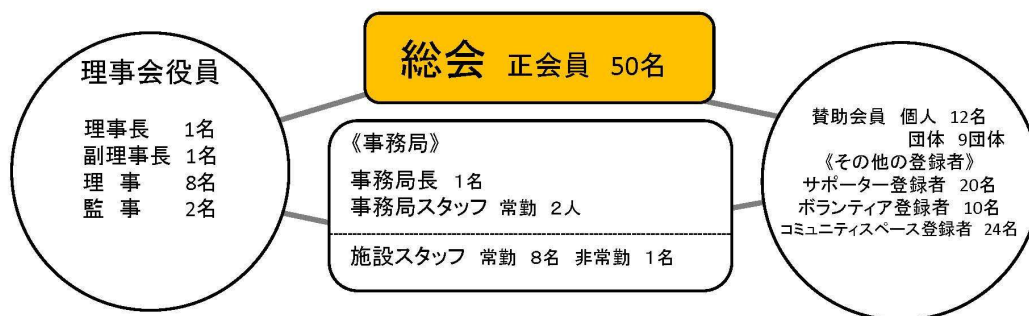


図 39 : いわて子育てネット組織図（平成 30 年度）

出典）認定 NPO 法人いわて子育てネット：組織図 ⁴⁹

⁴⁹ <http://iwate-kosodate.com/soshik/>

<活動概要>

活動分野	保健・医療・福祉／社会教育／まちづくり／人権・平和／男女共同参画社会／子どもの健全育成／情報化社会／経済活動の活性化／職業能力・雇用機会／連絡・助言・援助
設立以来の主な活動実績	<p>東日本大震災発災直後、平成 23 年度から自主事業として新生児と母親およびその家族受け入れ支援、心のケア、盛岡に避難してきた乳幼児家庭支援、被災後の子どもたちのストレス発散・運動不足解消に体を動かして遊べる室内遊び場の設置運営（体育遊び教室）等を行っていた。</p> <p>平成 25 年度から「NPO 等の運営力強化を通じた復興支援事業」の採択を受け、「もっと磨こう！子どものキラキラ体験遊び支援事業」を実施し、震災の影響で萎縮している子どもの感性を育てていくために、「アート遊び」や「音遊び」という体験遊びや、子どもの感性を育てる機会を増やすとともに、子育てフォーラムや子育て支援者向け研修会を実施。</p> <p>平成 26 年度は、子育て支援者のスキルアップを図る取組として「子育て支援者のスキルアップ支援事業」を実施し、主に遊び場の少ない沿岸被災地における子育て支援者のスキルアップを目的とした「科学遊び」「アート遊び」「パネルシアターの表現力」の研修や親子向けの遊びを実践した。平成 27 年度は、震災から 5 年が経過するため本格的な復興期間と捉え、現在も不安定な生活を続けざるを得ない家庭や子育てスキルを上げる機会が少ない「親」を対象に、「親育ちプログラム」と称し、親が子育てに自信をつけ、子育てが楽しいと思えるような支援を実施した。支援活動では、岩手県内の親支援団体が紹介している「Nobody's Perfect（誰もが完ぺきではない）」というプログラムを使用した。当プログラムは、週 1 回 2 時間程度の会を計 6 回開催し、参加者を固定することにより、話しやすい環境の中で体験を積み重ねていくことができた。</p>
団体の目的	地域社会に対して、子育てに関する全般の業務を行い、子育て環境の向上に寄与すること
団体の活動・業務（事業活動の概要）	<ol style="list-style-type: none"> (1) 子育てに関する情報窓口事業 (2) 子育てに関する相談・コーディネート事業 (3) 次世代育成支援のための事業 (4) 子育ての社会化普及事業 (5) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業
現在特に力を入れていること	<p>～平成 28 年度の事業報告より～</p> <p>岩手県内において子育て支援に関する多様な事業を推進し、子育て環境向上に寄与することを目的に活動を実施。継続する委託事業、子育てサ</p>

	<p>ポートセンター、盛岡市つどいの広場 KOKKO、にっこに関しては子育て親子のニーズを把握しながら事業の充実に努めた。</p> <p>(中略) 自主事業では、コミュニティスペースでのにっこ園、にっこサポート、サポーター養成講座、ママカフェ、ウクレレ教室が定着した活動となった。</p> <p>※平成 28 年度事業を利用、参加した総人数：67,267 人</p>
今後の活動の方向性・ビジョン	<p>～平成 29 年度事業年度事業計画書 (案) より～</p> <p>今年も、岩手県内において子育て支援に関する多様な事業を推進し、子育て環境向上に寄与することを目的に活動する。恒常的な地域子育て支援拠点事業 (子育てサポートセンター・盛岡市つどいの広場 KOKKO, にっこ) などは社会情勢や子育て親子のニーズを把握しながら事業の充実に努め、役割も見直していく。4 月より開所となったもりおか子育て応援プラザ ma*mall においては、母親の子育ての不安や悩みの解消を目的とした子育て相談や子育てセミナー、親子遊び等に加え「子ども」をキーワードに市民、地域活動団体・市民活動団体及び企業等が連携、交流できるよう活動を行っていく。「結婚から子育てまるごと支援未来塾」(WAM 助成) においては、「結婚、妊娠、出産、子育て、働く」に対する支援や知識を必要とする若い世代に、家庭・地域・社会の中で培われてきた生活力、人間力を育成することを目的に未来塾の開催を新規事業として行う。</p> <p>当法人の活動拠点であるウエダビルのコミュニティスペースにっこを活用しながら、子育てサポートセンターやつどいの広場と区別した子育てサービスを提供していく。</p> <p>通常の実業を推進しながら、企業や大学との協働で子育て家庭から聞こえてくる課題に合わせた新規の支援活動を行っていく。また、活動を通じてスタッフのスキルアップにも力を入れていく。その他、必要に応じて事業を拡大していく。</p> <p>運営が持続可能になるよう収益活動を念頭に情報を収集し、必要に応じて挑戦する。</p>
定期刊行物	<p>※定期ではないが、ニューズレターを発行している。</p> <p>http://iwate-kosodate.com/category/newsletter/</p>
備考	<p>ニューズレター Vol.19 (2016 年 4 月 1 日) では、いわて子育てネットのこれまで 10 年のあゆみを記載している。</p>

(8) 社会福祉法人こころん (福島)

(参考) CANPAN FIELDS

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1900779925>

などを参考に作成

<基礎情報>

団体名	社会福祉法人こころん
代表者名	関 元行 (理事長)
住所	福島県 西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸 9 番地
設立年月日	2002 年 10 月 22 日
法人格取得年月日	2011 年 4 月 1 日
中心となる活動地域 (県)	福島県
最新決算総額	1 億円～5 億円未満
役員数・職員数合計	39 名 (2018 年 10 月 4 日時点)
団体の概要	<p>2002 年より NPO 法人として障がい者の就労支援事業を行っていたが、東日本大震災のあった 2011 年に社会福祉法人に変更し、震災により生活がより苦しくなった地域の障がい者を対象に、加工部門として養鶏場の卵などを使用し、菓子製造を行う「こころん工房」を開設した。</p> <p>当事業所では、直売・カフェこころやを拠点に地元企業や農家の協力を得ながら「地域に根差した福祉」をめざしている。</p> <p>また販売部門の直売所、生産拠点の養鶏場・農場、加工部門の弁当・惣菜・製菓工房があり、事業所内の「六次産業化」をすすめている。</p> <p>「農福連携」にも力をいれており、従来の養鶏 畑作に加え、平成 29 年度より自然栽培による稲作をはじめた。</p>
ウェブページ	http://www.cocoron.or.jp/

<活動概要>

活動分野	障がい者、福祉、地域・まちづくり
設立以来の主な活動実績	<p>平成 14 年 NPO 法人こころネットワーク県南として事業を開始し、その後、平成 16 年生活支援センターこころん、平成 17 年 NPO 法人こころん、そして平成 23 年 4 月に社会福祉法人こころんとなった。</p> <p>当施設では、主に精神障害者の地域生活支援、就労支援事業、共同生活</p>

	援助事業を行っており、現在、地域活動支援センター事業「生活支援センターこころん」、多機能型事業（就労移行支援、就労継続支援）「直売・カフェこころや」、「なごみの家」、「こころん工房（菓子作り）」「こころん養鶏場」「こころんファーム（畑作業）」のほか、グループホーム2ヶ所を有し、100名を超える登録者のうちその半数以上が就労関連施設を利用している。
団体の目的	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する。
団体の活動・業務（事業活動の概要）	地域活動支援センター、相談支援、居宅介護、移動支援、共同生活援助、就労移行支援、就労継続支援B型事業、就労継続支援A型事業
現在特に力を入れていること	①. 地域の農産物や加工品を販売する直売所の運営 ②. 地元の企業との農商工連携に加え、平成23年3月に設立した就労継続支援A型事業所「こころん工房」でお菓子作りをとおした就労訓練をはじめ、こころん養鶏場の鶏卵とこころんファームで育てたかぼちゃを使った「かぼちゃプリン」を開発するなど、当法人内での「6次産業化」をすすめている。 ③. 「農福連携」にも力をいれており、従来の養鶏畑作に加え、平成29年度より自然栽培による稲作をはじめた。 ④. 平成29年度事業として、白河市田島地区に新養鶏場（平飼い）の設立をすすめている。
今後の活動の方向性・ビジョン	地域と連携し、障がい者の経済的自立を目指す
定期刊行物	こころん通信（年4回 500部）
備考	農商工の連携をとりながら商品の開発・販売を推進していきたい意向。